



行動連鎖型レッスン計画		標的スキル:	廊下を歩く
学習者名:		指導者:	日付:
行動目標: 授業の後の移動で学習者は廊下を歩く			
機能的関連:領域:学校		機能:コミュニティー向けの自立スキル	
現在の指導状況 [習得する, 流暢にする, 維持する]: 習得 (試行/セット; 毎週取るデータ数): 1試行/セット, 週2回データをとる 目標とする習得基準 (データのタイプを特定する: %, 頻度, 反応率, 持続時間など): プロンプトは<2回, 10分, 場所3ヶ所, スタッフ3人と			
現在の刺激制御: スタッフが学習者をシャドーイング		最終的な合図: 廊下	
行動単位型: いいえ [1セットごとの最大回数]		行動連鎖型: はい 連鎖化させる? いいえ	
1人 vs. 2人制プロンプト?: 1人	プロンプト方略: シェイピング (強化), およびフェイディング (近接度) (プロンプトの階層, または遅延プロンプトで) 間を空ける間隔 "		
エラー修正: バックステップ			
自然な強化子 または 付加的な強化子 (課題終了後): 賞賛, ちょっとした食べ物, 目的の場所へ着く		2次的強化子 (課題中): "賞賛" ("上手に歩いているね!")	
現在の2次的強化子の強化スケジュール: 賞賛, 6秒ごとに食べ物をあげる		目標とする2次的強化子の強化スケジュール: 賞賛, 1分ごとに食べ物をあげる	
般化 (刺激要素): [人々, 場所, 教材, 監督など] スタッフ, 場所, (例: 違う廊下など) を変える。スタッフとの距離を徐々に離していく。		般化 (反応要素): [割合, 正確さ, 強度, 持続時間など.] 廊下で歩く距離を伸ばしていく。強化率を薄くする。	
レッスンの詳細: 目標は, プロンプトされずに学習者が廊下を歩くこと。最初はスタッフが学習者の背中に軽く片手を置きながら学習者をシャドーイングして歩くことから始める。上手に歩いていることに対し6秒ごとに強化子をあげ, 目的の場所についたときにも強化子を与える。5回の試行に成功したら, 学習者から1m離れる。6秒間の間学習者が突進しなかったら, きちんと歩けたことを強化する。5回成功したら徐々に距離間を伸ばす。もし, 学習者が現在の距離でその時間間隔中に走らなかった場合のみ強化する。時間間隔を徐々に伸ばしていく。			

日付	指導者名	目的地	シャドーイング? はい/いいえ	距離	強化子を得る 時間 (秒数)	与えた 強化子の数	コメント

正誤反応	100							プロンプトレベル
	90							
正反応:+	80							FP: 全体身体プロンプト
	70							PP: 部分身体プロンプト
誤反応:-	60							M: 見本
	50							G: 身振りプロンプト
反応なし:NR	40							PV: 部分的言語プロンプト
	30							FV: 全体的言語プロンプト
	20							
	10							
	日付							